

ARSC NEWS

The Newsletter of the Applied Regional Science Conference

応用地域学会ニュースレター（日本語版）, No.64, July 2007

ARSC 事務局：〒162-0485 東京都新宿区市ヶ谷本村町 2-9

（財）計量計画研究所

応用地域学会事務局 文部科学省学会コード=10023

会長：小林潔司 担当：宮本成雄

TEL: (03)3268-9692

FAX: (03)3268-9919

E-mail: clerk@arsc.org

主要項目： 新会長就任挨拶
副会長選挙の結果
第 21 回研究発表大会のご案内
2006 年度学会決算
2007 年度第一回運営委員会の概要
事務局だより

1. 新会長就任挨拶

第 11 代会長 小林潔司

2007年、2008年の2年間、応用地域学会の第11代会長を、努めさせていただくことになりました。諸先輩方のご努力の結果、応用地域学会は立ち上げ期を越え、定常的な活動ポテンシャルを維持できるようになりました。会員の皆様方からのさまざまなご意見をできるだけ取り入れた学会運営に取り組みたいと考えています。微力ではございますが、皆様のご指導のもとに、学会の発展のため、いささかなりとも貢献したいと存じておりますので、よろしくお願い申し上げます。

自由貿易レジームという理想を掲げ、GATT-WTO体制が発足して半世紀がすぎました。しかし、現実のグローバリゼーションの流れの中で、世界経済は地域ブロック化が進展し、自由貿易レジームは幻想に過ぎないということが次第に明らかになってきました。さまざまな規模の経済性が働く現実の世界は、予定調和的な市場均衡が実現するのではなく、多様な戦略や政策に織り成された複雑な世界であることが判って来ました。特に、Regional Science が対象とする都市、地域は、規模の経済性に彩られた世界であり、これまでの応用地域学会の活動を通じて、都市・地域において現れるさまざまな現象の解明や政策の提言に貢献して

きたと思います。また、複雑な現象や政策問題を理解し、分析するための方法や方法論も格段に進歩しつつあるように思います。

Regional Scienceの分野でも新しい研究対象や分析手法が真剣に模索されているように見受けられます。しかし、ともすれば定型化された問題やモデル、とりくみやすい課題に研究努力が角に集中しているようにも見受けられます。これまでに発展してきた分析手法を手がかりに、新しい問題に取り組むなどRegional Scienceの裾野をひろげる努力をしていくことが、学問の発展には重要であると考えます。応用地域学会に参集されている研究者の皆さん、とりわけ若い研究者から、この状況を突き抜ける新しい研究が花開くことに期待をしております。

学会運営上の実務につきましては、財務的状况に余裕があるとはいえませんが、健全な状態を維持できており、会員の皆様の研究をよりいっそう推進できるような方策に取り組みたいと考えています。皆様方から活発なご意見を得て、学問の発展に寄与しうる運営に努めたいと存じます。

2. 副会長選挙の結果

副会長選挙管理委員 上田孝行 浅田義久

2007-2008 年度 ARSC 副会長選挙は、2007 年 3 月 25 日締め切りで実施されました。その結果、田淵隆俊(東京大学)先生が、副会長に選出されました。田淵先生のご得票数は以下のとおりです。

総投票数	162 票	(無効票なし)
得票数	田淵隆俊	59 票

3. 第 21 回研究発表大会のご案内

第 21 回研究発表大会実行委員長 小池淳司

2007 年度大会を下記要領で開催いたします。人口減少社会を目前に、地域社会の将来像を考える機会として、例年にも増して活発な発表と討論が期待されます。発表の受付を開始いたします。積極的にエントリーしていただきますようご案内申し上げます。

(1) 大会概要

①期 日 2007 年 12 月 8 日 (土)、9 日 (日)

※12 月 7 日 (金) には、特別シンポジウムを開催する予定です。同セッションは、持続的過疎形成プロジェクトが毎年度開催している研究集会を兼ねて実施するものです。特別講演会およびパネルディスカッションを予定しています。

②会 場 鳥取県立県民文化会館会議室
〒680-0017 鳥取県鳥取市尚徳町101-5
※アクセスについては下記ホームページをご覧ください。
http://www.torikenmin.jp/page_c.htm

③参加費 会員は無料、非会員は 3,000 円

(2) 発表申込

①発表者の条件 ARSC 会員であること

※非会員の場合は大会までに入会手続きを行ってください。

②記載事項 (A4 判 1 枚以内)

- a. 発表者氏名・所属
- b. 連名者氏名・所属
- c. 発表者連絡先 住所、tel、fax、E-mail アドレス
- d. 発表題目 (和・英の両方)
- e. 要旨 (和文 200 字、英語 100 語程度。できるだけ両方を記載)
- f. 発表時の使用言語 (日本語または英語)
- g. 希望討論者 (候補者 2 名まで)

※候補者の方に事前に打診される必要はありません。プログラム編成や討論者のご都合によってはご希望に添えないことがあります。あらかじめご了承ください。

h. 発表区分 (「一般セッション」「Early Bird セッション」「特定セッション」「シンクタンク・セッション」の区分を記入。次項(3)を参照)

③申込方法 E-mail (郵便または fax でも可)

④申込先 E-mail kondo@zim.tottori-u.ac.jp

郵便 〒680-8552 鳥取市湖山町南 4-101
鳥取大学工学部社会開発システム工学科 近藤宛

電話 0857-31-5319

fax 0857-31-0882

⑤申込期限 2007 年 9 月 7 日 (金) 正午必着

(3) セッション構成と企画の募集

- ・例年どおり下記セッションを開催いたします。「特定セッション」と「シンクタンク・セッション」については、広く会員各位からの企画提案を募集しています。
- ・2007 年 9 月 3 日 (月) までに企画提案をお送りください (送り先は上記申込先と同じです。書式は問いません)。

一般セッション	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い論題でのセッションです。下記のキーワード（事例）に限定することなく、ARSCにとって関連のある論題を積極的にご報告ください。 《地域問題》 成長と衰退、地域格差、産業構造、雇用・人口、地方分権、地方交付税、国土計画 《都市問題》 都市空間、土地利用、都市集積、外部経済、住宅立地、都市化、都市財政 《交通》 都市交通、混雑税、TDM、航空・港湾、投資評価、物流、通信 《環境》 影響評価、環境税、水質・大気汚染、地球環境、電力、資源管理、防災 《国際問題》 開発援助、直接投資、通貨問題、貿易・関税
Early Birdセッション	<ul style="list-style-type: none"> ・博士論文等を執筆している若手研究者や大学院在籍中の学生会員が単著で申し込んだ発表から構成されます。 ・ARSCの将来を担う若手研究者による積極的な報告を期待しています。
特定セッション	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の論題を重点的に議論するためのセッションです。論点や方法論、対象が共通する論文数編から構成されます（以前にはGIS、ロードプライシングなどの論題が取り上げられました）。 ・このセッションの企画を募集しております。オーガナイザーを務めていただける方々からの積極的な応募をお願いいたします。
シンクタンク・セッション	<ul style="list-style-type: none"> ・ARSCは、会員による研究成果を実務へ活用するとともに、実務の中で発見された様々な問題を新たな研究課題として会員に紹介するという双方向の展開が重要であるという共通認識に立っています。 ・このセッションは、会員の中で特に計画、政策立案、それに関連する調査等の実務に携わっている方々からの報告や問題提起をもとに構成されます。 ・賛助会員の方々をはじめ、実務関係者の方々からの企画提案をお待ちしております。

(4) 今後の予定

①大会プログラム

- ・10月半ばごろに確定し、ARSCのホームページとニュースレターを通じてお知らせいたします。

②発表原稿

- ・最終の発表原稿を11月8日（木）までに座長、討論者、大会事務局の3か所にそれぞれ個別にお送りください。

※E-mailに添付して送られる場合は、必ずPDF形式にしてください。ファイルが重たくなって関係先にご迷惑をおかけすることがあります。

※座長、討論者の連絡先が分からないときは、大会事務局にお問い合わせください。

(5) 2007 年大会実行組織

(敬称略、50 音順)

大会実行委員会	委員長 小池淳司 鳥取大学 委員 谷本圭志 鳥取大学 委員 塚井誠人 広島大学 委員 横松宗太 京都大学 委員 近藤陽子 鳥取大学 (事務局担当)
プログラム委員会	委員長 奥村 誠 東北大学 委員 矢澤則彦 東京国際大学 委員 曾 道智 香川大学
大会事務局・ お問い合わせ	鳥取大学工学部社会開発システム工学科 鳥取市湖山町南4-101 tel 0857-31-5319 E-mail kondo@zim.tottori-u.ac.jp

4. 2006 年度学会決算

事務局担当：宮本成雄 (計量計画研究所)

2006 年度学会決算を別添のようにご報告いたします。監査委員による監査後、本年度大会での総会にて会員の皆様への報告がなされ、最終承認される予定です。なお監査委員は、羽藤英二 (東京大学) 及び河野達仁 (東北大学) の両先生にお願いすることになりました。(決算書は、後段に添付)

5. ARSC 北京大会の開催について

事務局担当：宮本成雄 ((財)計量計画研究所)

ARSC 北京大会は、既にご案内のとおり 2007 年 10 月 20 日～21 日の 2 日間、中国北京 北京大学で開催されます。

本年の大会は、昨年の上海 華東師範大学での開催に引き続き、ARSC の日中交流の大会となります。関係者による準備が着々と進められております。昨年にも増して盛大な大会となりますよう皆様のご参加とご協力をお願いいたします。

(北京大会の案内、参加申し込みフォームは、別途添付。ARSC ホームページにも掲載されております。)

6. 2007 年度第一回運営委員会報告概要

事務局担当：宮本成雄 ((財)計量計画研究所)

2007 年度第一回運営委員会が 5 月 22 日(火)に行われました。議事録の詳細が必要な方は

事務局までお知らせ下さい。以下に、議事の要点をご紹介します。

- ・副会長選挙結果報告(前掲)

- ・運営幹事選任

運営幹事の選任については、運営委員の改選に合わせてするものとし、2007年度は引き続き以下の方々とする。

総務 黒田 達朗 (名古屋大学)
渉外 佐々木 公明 (東北大学)
会計 瀬古 美喜 (慶応大学)

- ・決算報告 (別掲)

- ・2007年度研究発表大会の開催について (前掲)

- ・ARSC 北京大会の開催について (別掲)

- ・坂下賞について

坂下賞選考委員会の2007年度の新しい委員には、藤田昌久先生に再度お願いすることになりました。2007年度坂下賞選考委員会は、以下のメンバーになります。

佐々木 公明 (東北大学)
岡部 篤行 (東京大学)
藤田 昌久 (京都大学)
小林 潔司 (ARSC 会長)
田淵 隆俊 (ARSC 副会長)

- ・会員名簿編集について

会員名簿編集については、現段階での会員情報(会員アンケートによる提供情報に沿ったもの)をもとに編集を進める。編集委員会は、従来の以下の方がたに引き続きお願いする。

名簿編集小委員会

委員長 柏谷 増男 (愛媛大学)
委員 上田 孝行 (東京大学)
委員 奥村 誠 (東北大学)
委員 谷口 守 (岡山大学)

- ・RURDS 出版関係

土井正幸 RURDS 編集委員長からの報告の紹介がありました。

RURDS には、デジタル購読・ダウンロード件数が大変な勢いで増え、投稿も増え

ていること、そして、2007年 No1 での特集（藤田昌久先生を客員編集者に迎えた経済統合特集）には、大きな反響を呼んでいる旨の報告がなされた。

・応用地域学研究出版関係

応用地域学研究に関し、中村良平編集委員長からの報告の紹介がありました。

・ジャーナル 12 号編集状況等

11 号発行以降の投稿数は、11 編（編集委員かでの審査終了 8 編、審査中 3 編）。

3 本の書評を依頼中。

また、13 号以降に対して 1 編の論文投稿がある。

・ジャーナルの web 公開と著作権について

編集委員会として、12 号に関しては、学会 HP より論文の閲覧を可能とし、

11 号についても公開を準備する。そのために、12 号から著作権の帰属を「応用地域学会」と明記する。（11 号の著者についても了解を得る。）

・学会ホームページについて

学会ホームページ、メーリングリスト管理は、矢澤先生（東京国際大学）にお願いしてきているが、管理の移管も検討することになりました。

・その他

以下の議論がありました。継続的に審議していきます。

・学会費に関連して（値下げして会員の負担軽減・会員増を図るか、会員サービスの一層の充実に努めるか等の意見）

・会員外査読者への謝礼について（謝金支給、ジャーナル誌等の現物支給等の意見）

7. 事務局だより

□ARSC 会員現勢

2007 年 5 月 15 日現在の会員数(昨年度総会以降の入退会者を含む)は以下の通りです。

個人会員 453 名(内、一般会員 384 名、学生会員 57 名、海外会員 12 名)

賛助会員 11 団体(総口数 17 口)。

□地域科学に関連する分野の研究に興味を持たれている個人または団体が周囲に居られましたら、是非入会をお勧め頂くようお願い致します。個人会員用の入会申込書は ARSC のホームページ(<http://www.arsc.org>)より入手可能です。また、E-mail によるお申し込みも受け付けておりますので、記入事項を ARSC ホームページにてご確認の上、必要事項を記入して clerk@arsc.org 宛て E-mail でお申し込み下さい。

□事務局やニューズレター等に対しまして、ご意見や新しい企画等ございましたら、お知らせいただきたいと思っております。

応用地域学会2006年度決算書（2007年3月31日）

収入の部	2006年度予算		2006年度決算	
	円貨	ドル貨	円貨	ドル貨
1.繰越金	9,150,418	0.00	9,150,418	0.00
2.個人会費収入	4,375,000	1,800.00	3,818,945	0.00
3. RSAI会費	245,180	0.00	197,800	0.00
4.賛助会費収入	1,200,000	0.00	900,000	0.00
5.補助金(科学研究費補助)	1,600,000	0.00	1,600,000	0.00
6.大会参加費収入	30,000	0.00	719,000	0.00
(年次大会)			489,000	
(上海大会)			230,000	
7.大会開催寄付金	0	0.00	0	0.00
8.利子収入	0	0.00	3,269	0.00
9.雑誌販売(Back Number)	0	0.00	37,870	0.00
10.その他	0	0.00	0	0.00
収入合計	16,600,598	1,800.00	16,427,302	0.00
(繰越金を除く収入合計)	7,450,180		7,276,884	

支出の部	2006年度予算		2006年度決算	
	円貨	ドル貨	円貨	ドル貨
1.RURDS刊行費	4,720,000	0.00	4,282,752	0.00
(編集印刷経費)	1,600,000	0.00	1,600,000	0.00
(刊行・発送費)	3,120,000	0.00	2,682,752	0.00
2.年報刊行費	1,000,000	0.00	1,019,327	0.00
3.大会開催費	650,000	0.00	1,621,696	0.00
(年次大会)			939,000	
(上海大会)			682,696	
4. RSAIへの送金	245,180	0.00	296,682	0.00
5.坂下賞	121,000	0.00	121,200	0.00
6.名簿印刷費	170,000	0.00	0	0.00
7. ニュースレター等印刷費	200,000	0.00	95,130	0.00
8.一般事務費	310,000	0.00	302,698	0.00
(郵送費)	250,000	0.00	182,140	0.00
(消耗品等)	10,000	0.00	2,398	0.00
(謝金等)	0	0.00	97,460	0.00
(銀行手数料)	50,000	0.00	20,700	0.00
9.事務局費	600,000	0.00	600,000	0.00
10.予備費	50,000	0.00	0	0.00
支出合計	8,066,180	0.00	8,339,485	0.00
繰越金	8,534,418	1,800.00	8,087,817	0.00
ドル貨円換算(手数料を除く)	123,000		0	
繰越金合計	8,657,418		8,087,817	

注：2001年度よりドル口座を廃止。海外会員の会費は、円に換金して円口座に入金。

監査の結果、決算は適正になされていることを認めます。

2007年 月 日 監査委員 _____

2007年 月 日 監査委員 _____